

9. 自動車・自動車部品

柳沢 貴央

トピック：
2015年の輸出台数は3年ぶりに増加

2015年の輸出台数は、販売が好調な北米向けを中心に3年ぶりに増加し、前年比+2.5%増の458万台となりました。これに伴い、輸出比率(輸出台数/国内生産台数)は同+3.6%高い49.3%に上昇しました。

2015年世界自動車市場の着地見込み：
米国・中国市場が拡大し引き続き前年比伸長

2015年の国内販売台数は、2014年4月の消費税増税前に起きた駆け込み需要や、軽自動車を巡る大手間の激しい販売競争の反動減等により4年ぶりに減少し(前年比▲9.3%)、505万台となりました。一方、海外では一部の新興国での販売こそ減少しましたが、失業率低下や燃料安等を背景に米国の販売台数が前年比+5.7%増の1,747万台となったほか、中国の販売台数も購入税減税を追い風に前年比+4.7%増の2,460万台となるなど、世界全体では伸長が続いています。

2016年世界自動車市場の見通し：
米国や中国が牽引し、市場は引き続き拡大

2016年は、国内では2017年4月の消費税増税前に駆け込み需要発生が予想されるなど、需要が増加すると見込まれています。海外についても、一部の新興国市場が伸び悩む可能性はありますが、米国や中国市場等が引き続き拡大するとみられ、世界全体ではプラス成長が続く見通しです。

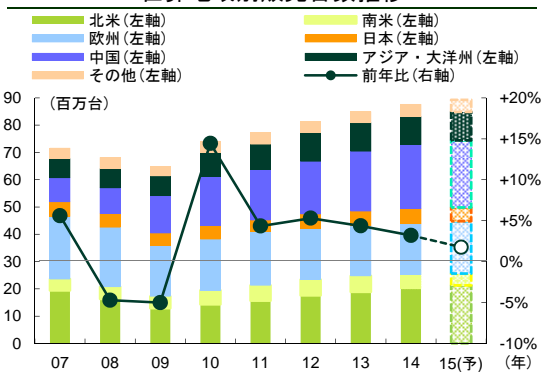
国内完成車メーカーの動向：
好調な北米販売等により増収増益の見込み

国内完成車メーカーの2015年度通期業績は、国内や一部の新興国での販売は減少しましたが、北米販売の拡大や原価低減等が補い、概ね前期比増収増益となる見込みです。

国内部品サプライヤーの動向：
北米での増産等により増収増益の見込み

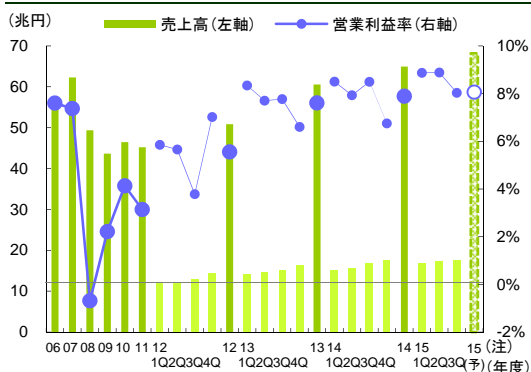
国内部品サプライヤーの2015年度通期業績は、国内での受注減やアジアをはじめとする新興国での労務費の増加等はありませんでしたが、北米等での受注増や原価低減等により概ね前期比増収増益となる見込みです。

世界地域別販売台数推移



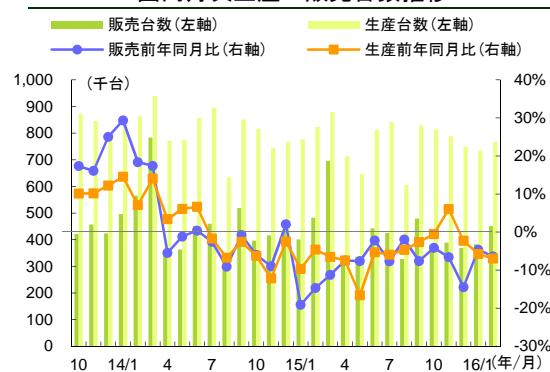
(出所)FOURINより弊行作成 15年は弊行予想値

国内完成車メーカー8社合算業績推移(連結)



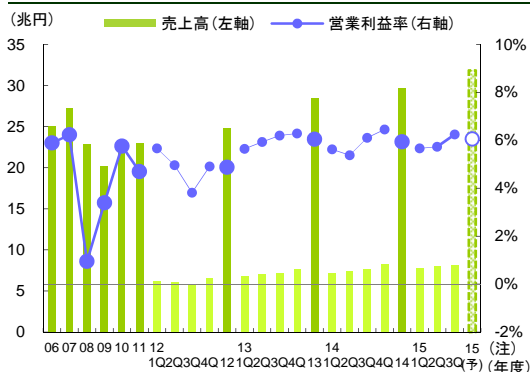
(出所)各社決算短信より弊行作成 (注)15年度より、本田技研工業はIFRSを採用。

国内月次生産・販売台数推移



(出所)日本自動車工業会、日本自動車販売協会連合会より弊行作成

主要上場サプライヤー合算業績推移(連結)



(出所)各社決算短信より弊行作成 上場サプライヤーのうち、3月決算106社を対象。(注)15年度より、8社はIFRSを適用。

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊行が一般に信頼できるとされる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を弊行で保証する性格のものではありません。また、本資料の情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがありますので、ご了承ください。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いくださいますようお願い致します。本資料の一部または全部を、電子的または機械的手段を問わず、無断での複製または転送等することを禁じております。